

【国際戦略総合特区】 北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区

【北海道・札幌市・江別市・函館市・帯広市・北海道経済連合会及び十勝管内全18町村】

【目標】

- EU・北米経済圏と同規模の成長が見込まれる東アジアにおいて、「北海道」をオランダのフードバレーに匹敵する食の研究開発・輸出拠点とする。

【取組概要】

(1) 規制の特例措置

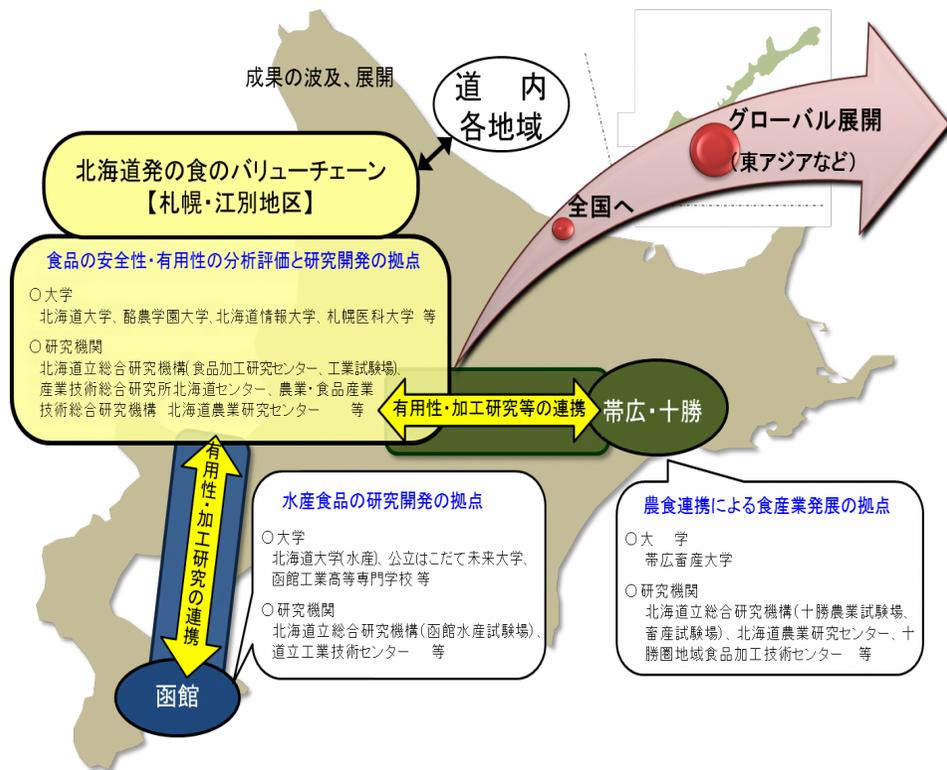
- 農業用貨物自動車の車検延長に向けた調査を実施し、その間、法定点検で安全性を確認できれば、車検期間を1年延長できる規定を整備 など

(2) 財政支援、税制支援、金融支援

- 「フード&メディカルイノベーション国際拠点(FMI)」の整備
FMIでは、COI事業「食と健康の達人」拠点として新しい産・学・官・地域連携のもとで開発した技術等の社会実装を推進
- 食品安全性・有用性研究評価センター機能の整備(ヒト介入試験の強化)
- 食の臨床システム(江別モデル)と情報通信技術を融合した新規研究の推進
- 生鮮魚類の鮮度指標及び測定方法に関するJAS規格化
- 輸出拡大に向けた農産物の製品保管・出荷施設の整備 など

(3) 地域独自の取組

- 北海道独自の食品の機能性表示制度の創設(「ヘルシーDo」) など
認定商品数:累計67社、127商品(令和2年度末)
- 重点プロジェクト
 - ・一次産業の生産体制の強化
 - ・研究開発拠点の拡充とネットワーク強化
 - ・輸出支援の加速



フード&メディカルイノベーション国際拠点



食の臨床試験システム江別モデル



国際水産・海洋総合研究センター



長いも洗浄・選別施設

